朗読検定
2016 年春期(第 80 回～81 回)受検要項

【全級合格基準】
実技試験および筆記試験　各 50 点満点のそれぞれ 40 点以上の獲得で合格とする

【４級】

４級の目的 筆記 ※50 点満点
・発声方法や朗読の初歩的な知識を身につけているか
・文学に関する初歩的な知識を身につけているか（著名な文学作品等）

４級の目的 実技 ※50 点満点
・発声が出来ているか（ロングトーン１２秒）
・明瞭に、正確に読むことが出来ているか（読み間違い、滑舌）
・早口言葉、滑舌課題が明瞭に読めているか
・作品朗読の“語り”部分を情景描写や間の取り方に工夫して正確に読めているか

ー実技試験内容と採点項目ー

①発声課題　　（１５点）

◆時間（規定時間をクリア出来ているか）	５点
◆声量（しっかりと発声出来ているか）	５点
◆発音安定性（最後まで発音が安定しているか）	５点

②滑舌課題 早口言葉　　（１５点）

◆時間（規定時間内に読み終えられているか）	５点
◆正確さ・滑舌（読み間違いなく、明瞭で、正しいアクセントか）	５点
◆リズム（苦手な部分が遅くなっていないか）	５点

③作品朗読 宮沢賢治・作「オツベルと象」より抜粋　　（２０点）

◆情景描写（情景描写を伝える読み方の工夫が出来ているか）	５点
◆読む速度と間の取り方（聴きやすい速度と間が取れているか）	５点
◆正確さ（読み間違いなく、正しいアクセントで読めているか）	５点
◆滑舌（明瞭に発音出来ているか）	５点

【３級】

３級の目的 筆記 ※50 点満点

・アクセントの初歩的な知識を身につけているか
・文学に関する初歩的な知識を身につけているか（著名な文学作品等）

３級の目的 実技 ※50 点満点

・明瞭に、正確に読むことが出来ているか（読み間違い、滑舌）
・早口言葉、滑舌課題が明瞭に読めているか（外郎売りを一部抜粋）
・作品朗読の“語り”部分と台詞部分の読み分けが出来ているか（情景描写や間の取り方に工夫して正確に読めているか）
・正しいアクセントで読めているか
・プロミネンスを理解しているか

ー実技試験内容と採点項目ー

①滑舌課題 「外郎売り」より （１５点）

◆時間（規定時間内に読み終えられているか） ５点
◆正確さ・滑舌（読み間違いなく、明瞭で、正しいアクセントか） ５点
◆リズム（苦手な部分が遅くなっていないか） ５点

②プロミネンス課題 （１５点）

◆表現幅（強調部分で差を出せているか） ５点
◆正確さ・滑舌（読み間違いなく、明瞭に読めているか） ５点
◆アクセント（正しいアクセントで読めているか） ５点

③作品朗読 アンデルセン・作「赤いくつ」より抜粋 （２０点）

◆情景描写（情景描写を伝える読み方の工夫が出来ているか） ４点
◆読む速度と間の取り方（聴きやすい速度と間が取れているか） ４点
◆正確さ（読み間違いなく、正しいアクセントで読めているか） ４点
◆滑舌（明瞭に発音出来ているか） ４点
◆読み分け（語りと台詞の読み分けが聴き手に伝わるか） ４点

【準２級】

準２級の目的　Ａ検定筆記　※50 点満点

・単語や文章にアクセント記号を付けることが出来るか
・同音異義語のアクセントの違いを理解しているか
・鼻濁音や無声化の知識を身につけているか
・課題作品の表現計画を記述宣言する（※実技試験連動）

準２級の目的　Ｂ検定筆記　※50 点満点

・課題作品の表現計画を記述宣言する（※実技試験連動）
・朗読をはじめた理由を文章化すること（４００字）

準２級の目的　Ａ検定実技　Ｂ検定実技

・明瞭に、正確に読むことが出来ているか
・正確なアクセントで読めているか
・聴きやすい速度で読んでいるか
・登場人物が複数いる場合の台詞の読み分けができているか
・作品朗読の“語り”部分と台詞部分の読み分けが出来ているか
・プロミネンスを理解しているか
・鼻濁音や無声化がしっかりできているか
・表現計画で宣言した通りの表現ができているか

ー実技試験内容と採点項目　Ａ検定ー

①作品課題　夏目漱石・作「夢十夜」より抜粋　（３０点）

◆正確さ（読み間違いなく読めているか）	５点
◆滑舌（明瞭に読めているか）	５点
◆間・読む速度（聴きやすさの工夫ができているか）	５点
◆アクセント（正確なアクセントで読めているか）	５点
◆鼻濁音・無声化（しっかりできているか）	５点
◆情景描写・台詞（読み分けや表現の工夫ができているか）	５点

②プロミネンス課題　（２０点）

◆表現幅（指定通りに強調部分で差を出せているか）	５点
◆正確さ・滑舌（明瞭に、読み間違いなく読めているか）	５点
◆無声化・鼻濁音（しっかり出来ているか）	５点
◆アクセント（正確なアクセントで読めているか）	５点

ー実技試験内容と採点項目　Ｂ検定ー

①作品課題　太宰治・作「火の鳥」より抜粋　（３０点）

◆正確さ（読み間違いなく読めているか）	５点
◆滑舌（明瞭に読めているか）	５点
◆間・読む速度（聴きやすさの工夫ができているか）	５点
◆アクセント（正確なアクセントで読めているか）	５点
◆鼻濁音・無声化（しっかりできているか）	５点
◆情景描写・台詞（読み分けや表現の工夫ができているか）	５点

②プロミネンス課題　（２０点）

◆表現幅（指定通りに強調部分で差を出せているか）　５点
◆正確さ・滑舌（明瞭に、読み間違いなく読めているか）　５点
◆無声化・鼻濁音（しっかり出来ているか）　５点
◆アクセント（正確なアクセントで読めているか）　５点

～大切なお知らせ～

下記、２級試験につきましては、受検者数の上限 200 名に達し次第、受付終了とさせていただきます。また、受付期間も、会場手配の都合上、５月 31 日までの受付とさせていただきます。

【２級】 ※試験日は６月 18 日（土）／試験会場は東京または大阪となります。

２級の目的　Ａ検定筆記

・朗読活動を通じて実現したい事を文章化すること（４００字）
・課題作品の表現計画を記述宣言する（※実技試験連動）

２級の目的　Ｂ検定筆記

・聴き手に伝わる朗読に関する考えを文章化すること（４００字）
・課題作品の表現計画を記述宣言する（※実技試験連動）

２級の目的　Ａ検定　および　Ｂ検定実技

・対面で読む場合でも、十分な声量で読むことができるか
・準２級で問われる課題を対面でもクリアできるか
・簡単な作品の初見読みに対応できるか（Ａ検定のみ）

ー実技試験内容と採点項目　Ａ検定ー

①作品課題　夏目漱石・作「夢十夜」より抜粋　（３０点）

◆正確さ（読み間違いなく読めているか）　５点
◆滑舌（明瞭に読めているか）　５点
◆間・読む速度（聴きやすさの工夫ができているか）　５点
◆アクセント（正確なアクセントで読めているか）　５点
◆鼻濁音・無声化（しっかりできているか）　５点
◆情景描写・台詞（読み分けや表現の工夫ができているか）　５点

②初見課題　プロミネンス課題　（１０点）　※試験日当日に、試験会場にて発表

◆自然さ（自然な強調が出来ているか）　５点
◆技能（音声技術全般）　５点

③初見課題　詩　課題　（１０点）　※試験日当日に、試験会場にて発表

◆読む速度と間（作品に合った読む速度と間）　５点
◆表現力（表現の工夫）　５点

ー実技試験内容と採点項目　B 検定ー

①作品課題　太宰治・作「火の鳥」より抜粋　（３０点）

◆正確さ（読み間違いなく読めているか）	５点
◆滑舌（明瞭に読めているか）	５点
◆間・読む速度（聴きやすさの工夫ができているか）	５点
◆アクセント（正確なアクセントで読めているか）	５点
◆鼻濁音・無声化（しっかりできているか）	５点
◆情景描写・台詞（読み分けや表現の工夫ができているか）	５点

②プロミネンス課題　（２０点）

◆表現幅（指定通りに強調部分で差を出せているか）	５点
◆正確さ・滑舌（明瞭に、読み間違いなく読めているか）	５点
◆無声化・鼻濁音（しっかり出来ているか）	５点
◆アクセント（正確なアクセントで読めているか）	５点

２０１６年３月31 日
（一社）日本朗読検定協会